

東北地方 1 か月予報

(6月15日から7月14日までの天候見通し)

平成25年6月14日
仙台管区气象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

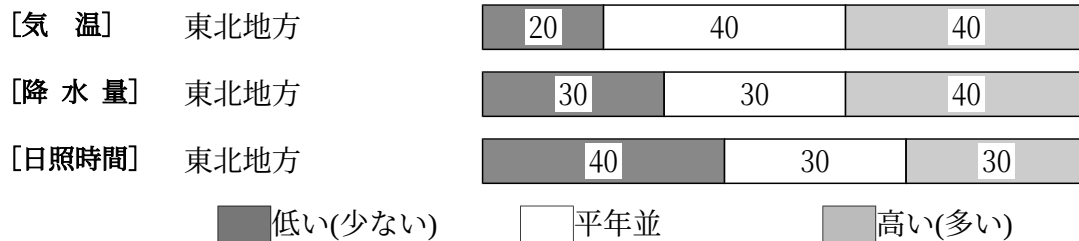
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

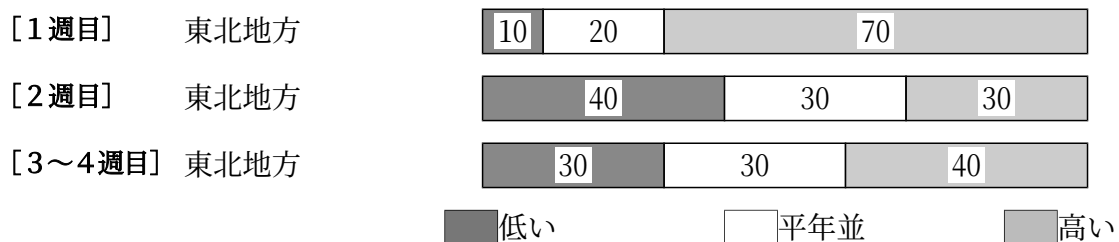
向こう1か月の平均気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は、高い確率70%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 6月15日(土)～ 7月14日(日)
1週目 : 6月15日(土)～ 6月21日(金)
2週目 : 6月22日(土)～ 6月28日(金)
3～4週目 : 6月29日(土)～ 7月12日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報: 毎週金曜日 14時30分 次回は6月21日
3か月予報: 6月25日(火) 14時

＜参考資料（平年並の範囲等）＞

（１）30 年平均値（向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間と 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の平均気温）

	気 温 (°C)	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温(°C)		
				1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
青森	18.9	97.6	159.8	17.5	18.4	19.6
深浦	19.0	125.7	158.7	17.6	18.5	19.8
むつ	17.3	132.3	137.4	15.9	16.8	17.9
八戸	17.8	138.8	146.5	16.5	17.3	18.5
秋田	20.8	179.4	147.7	19.5	20.3	21.4
盛岡	19.8	165.6	127.6	18.7	19.2	20.4
大船渡	18.9	211.1	124.8	17.7	18.4	19.6
宮古	17.6	153.9	126.2	16.3	17.0	18.3
仙台	20.0	187.5	108.7	18.7	19.4	20.6
石巻	19.3	150.5	126.1	18.0	18.7	19.9
山形	21.3	154.4	126.9	20.1	20.7	21.9
新庄	20.4	184.5	122.3	19.2	19.9	21.0
酒田	21.1	190.1	145.8	19.9	20.6	21.8
福島	21.5	170.6	110.4	20.3	20.9	22.2
若松	21.5	170.5	133.2	20.4	20.9	22.2
白河	20.1	207.8	105.7	18.9	19.5	20.8
小名浜	20.0	175.1	123.1	18.6	19.4	20.7

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1981 ～ 2010 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差(°C)	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.5 ～ +0.6	90 ～ 114	90 ～ 105
東北日本海側	-0.4 ～ +0.5	88 ～ 113	91 ～ 105
東北太平洋側	-0.5 ～ +0.5	86 ～ 112	88 ～ 107

（３）この予報期間の 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
東北地方	-0.7 ～ +0.7	-0.7 ～ +0.8	-0.5 ～ +0.7
東北日本海側	-0.7 ～ +0.8	-0.7 ～ +0.8	-0.4 ～ +0.6
東北太平洋側	-0.7 ～ +0.8	-0.8 ～ +0.9	-0.6 ～ +0.8

＜参考資料（利用上の注意）＞

（１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1981 ～ 2010 年の 30 年間における各階級の出現率が等分（それぞれ 33％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 10％以下や 60％以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30％、40％）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成25年6月14日 仙台管区气象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月（6月15日～7月14日）：

梅雨前線が本州付近に停滞するため、平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。

向こう1か月の平均気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

1週目（6月15日～6月21日）：

湿った気流や気圧の谷の影響で雲が広がりやすく、雨の降る日がありますが、期間のはじめは晴れる所もあるでしょう。

気温は、高い確率70%です。

2週目（6月22日～6月28日）：

梅雨前線や寒気の影響を受け、平年に比べて曇りや雨の日が多いでしょう。

気温は、各階級の確率の偏りは小さい。

3～4週目（6月29日～7月12日）：

本州付近に梅雨前線が停滞するため、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

気温は、各階級の確率の偏りは小さい。

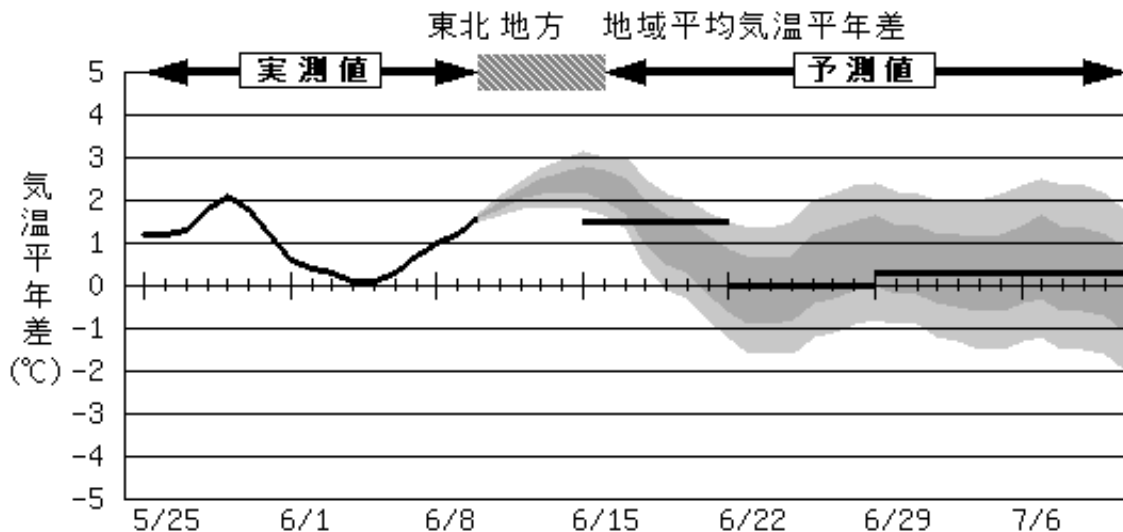
主な気象官署の、向こう4週間の平年の天気出現日数（日）

青 森		秋 田		盛 岡		仙 台		山 形		福 島	
晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水
12.2	8.2	11.5	11.0	10.0	10.9	8.3	12.6	9.5	11.4	8.2	12.1

晴れ日数は「日照率40%以上の日数」、降水日数は「日降水量1mm以上の日数」。

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と予測資料

地域平均気温平年差の予測資料では、週別の平均気温は、1週目は平年を上回り、2週目、3～4週目は平年付近の予想となっている。



- ・ グラフの値は全て7日間平均値であり、横軸の値は平均期間の中日。
- ・ 予測期間には7日間平均気温の予想に対する信頼の程度が40%の幅(濃い陰影の範囲)と、信頼の程度が70%の幅(濃い陰影と薄い陰影の範囲)を表示。
- ・ 水平な3本の実線は、予報期間の1週目、2週目、3～4週目の平均を表す。
- ・ ハッチの期間は、発表日の観測値が確定していないため、観測値と予測値に基づいて結んでいる。

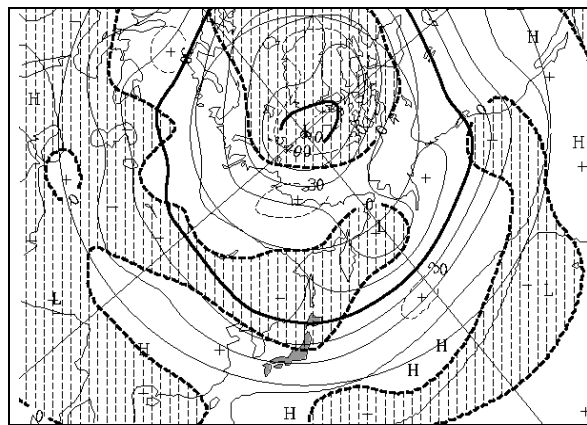
3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500hPa 予想天気図)

1か月平均:

中国東北区からカムチャツカの東まで負偏差。東北地方は正偏差と負偏差の境目となり、高温傾向だが寒気の影響を受ける時期がある。日本の南で太平洋高気圧の張り出しが強まり、梅雨前線や湿った気流の影響をうけ、降水量はやや多い傾向となる見込み。

1週目:

北日本は負偏差だが、華中から本州にかけて正偏差が見られ、南からの温かい湿った空気が入りやすくなる。高温が予想される。

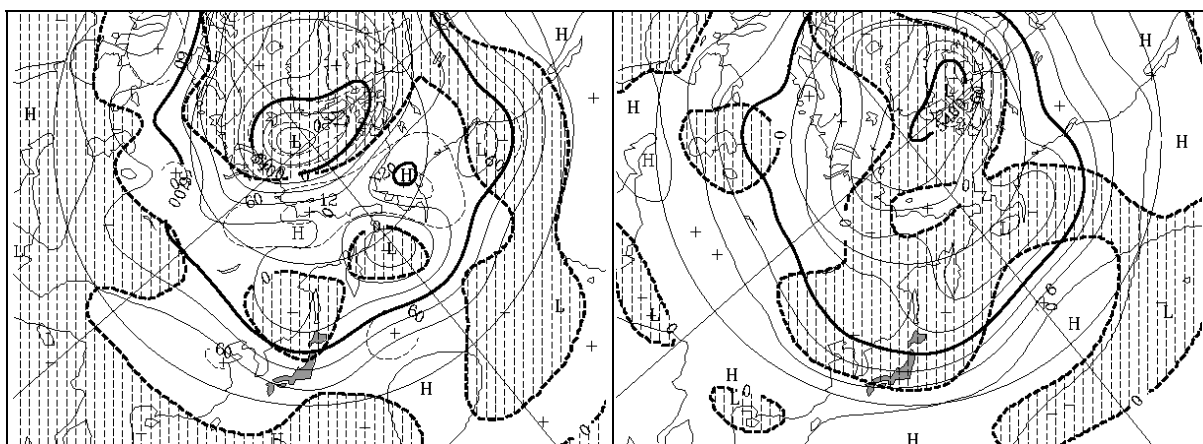


1か月平均 500hPa 予想天気図

図の見方は1, 2週目と同じ。ただし偏差の間隔は30m。

2週目:

偏西風は南に蛇行し日本付近は負偏差に覆われる。寒気の影響を受けやすくなり、やや低温傾向となる。太平洋高気圧が日本の南に張り出すため、梅雨前線は本州付近に停滞するようになり、平年に比べて曇りや雨の日が多くなる見込み。



1週目平均 500hPa 予想天気図

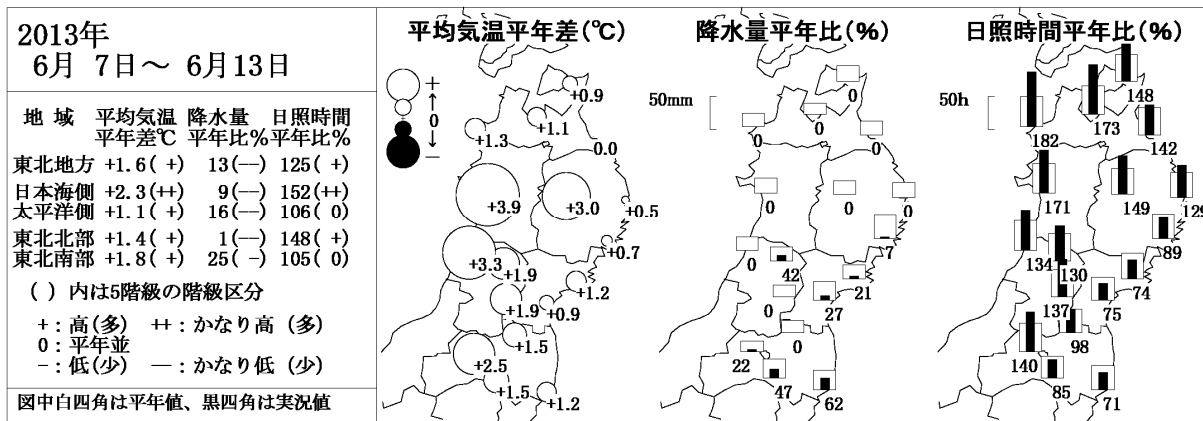
2週目平均 500hPa 予想天気図

実線は等高線（間隔 60m）、点線は偏差（間隔 60m）。陰影部は負偏差で一般に寒気に対応し、白抜きは正偏差で一般に暖気に対応する。

4. 最近1週間（6月7日～6月13日）の天候の経過

期間のはじめは、上空に寒気を伴った低気圧の影響で曇りや雨となった。その後は高気圧に覆われ、東北日本海側を中心に晴れの日が続いたが、期間の終わりは湿った東よりの風の影響で東北太平洋側では曇りや雨の日があった。7日は寒気の影響で大気の状態が不安定となり、秋田県で大雨となった所があった。暖かい空気に覆われたため、東北日本海側の気温はかなり高くなり、13日は秋田と酒田で6月の日最高気温の高いほうからの1位を記録した。

平均気温は東北日本海側でかなり高く、東北太平洋側で高い。降水量は東北北部でかなり少なく、東南北部で少ない。日照時間は東北日本海側でかなり多く、東北太平洋側で平年並。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）